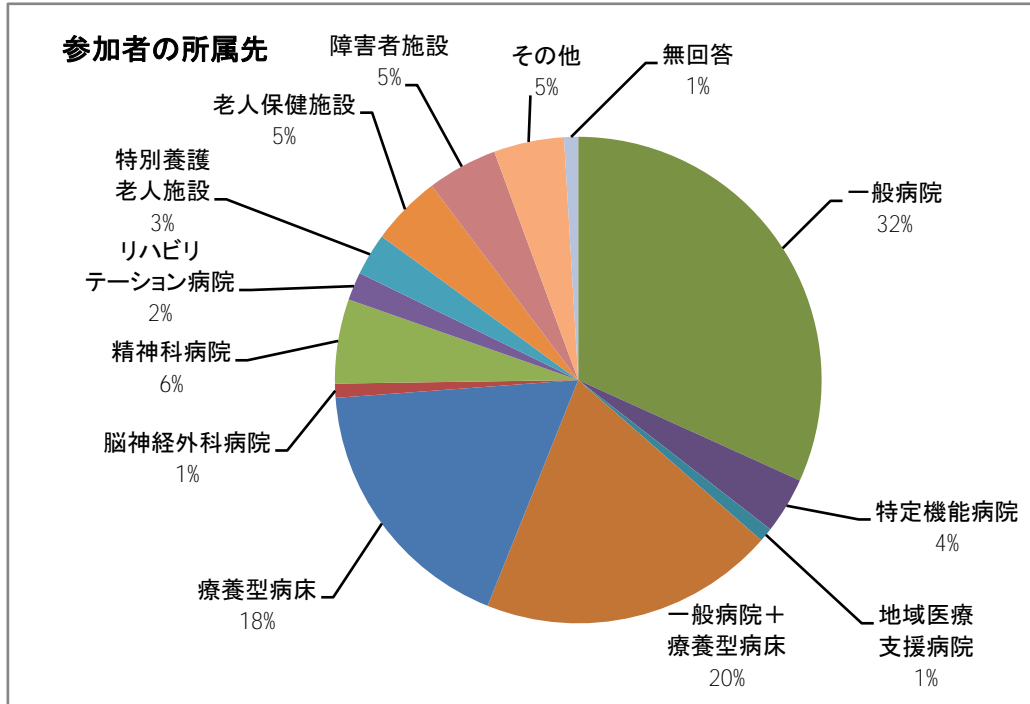


北海道PDNセミナー(道央地区)・アンケート結果

平成20年11月8日
(サンプル数107)

I. 参加者のプロフィール

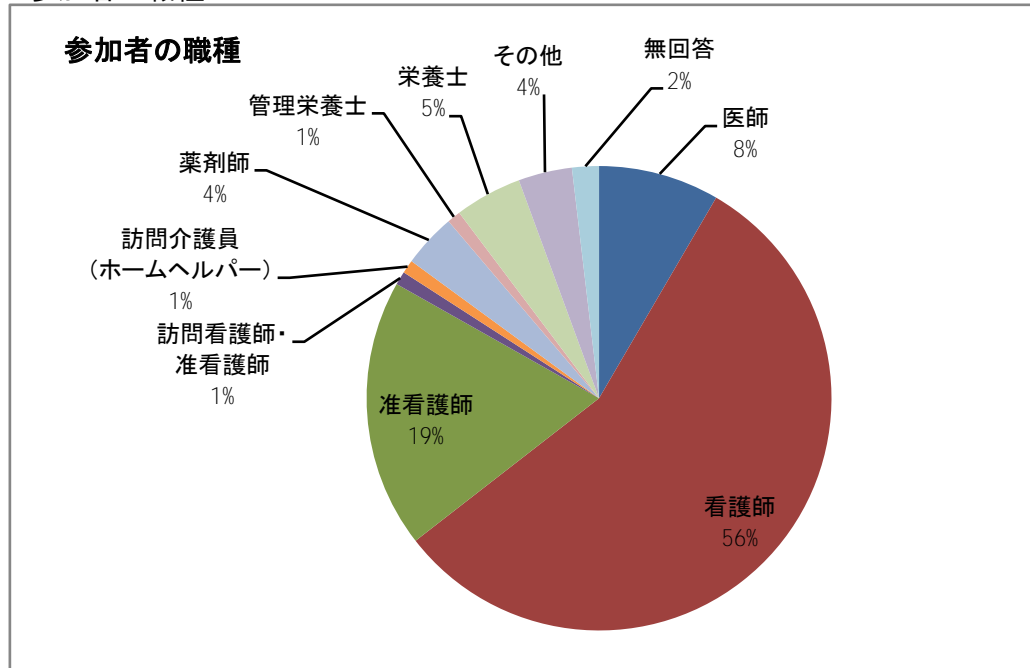
■参加者の所属先



その他：調剤薬局、療養型病床+一般病院・老人保健施設、看護学生、医療機器販社

N=107

■参加者の職種



その他：内視鏡技師、看護学生、外勤営業職

N=107

■所属先の所在地

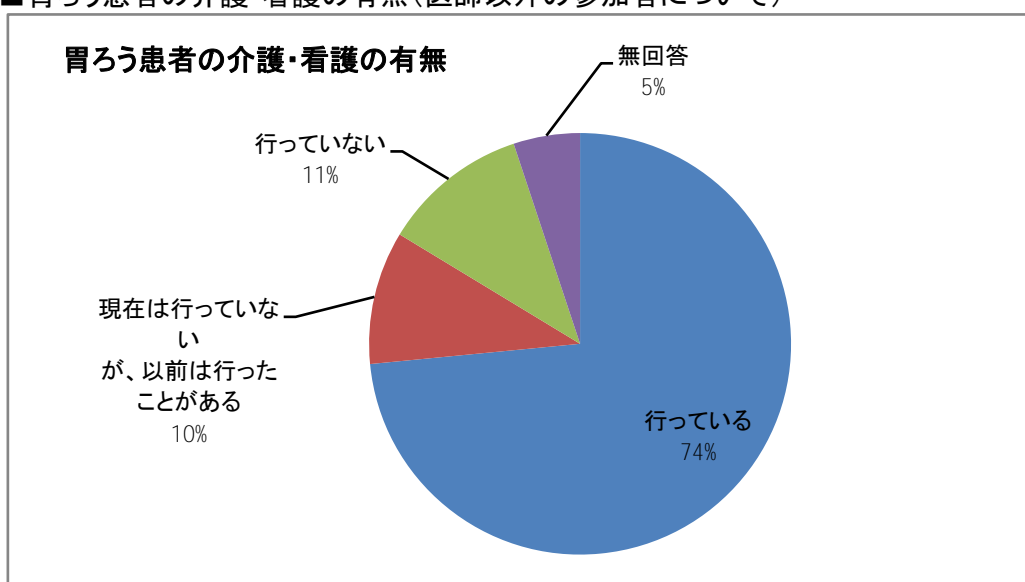
N=107

市、郡	札幌市	伊達市	小樽市	苫小牧市	三笠市	蛭田郡	紋別郡
人数	41	8	8	5	4	3	3
%	38.3%	7.5%	7.5%	4.7%	3.7%	2.8%	2.8%

旭川市	江別市	滝川市	瀬棚郡	釧路市	恵庭市	室蘭市	北広島市
2	2	2	2	1	1	1	1
1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%

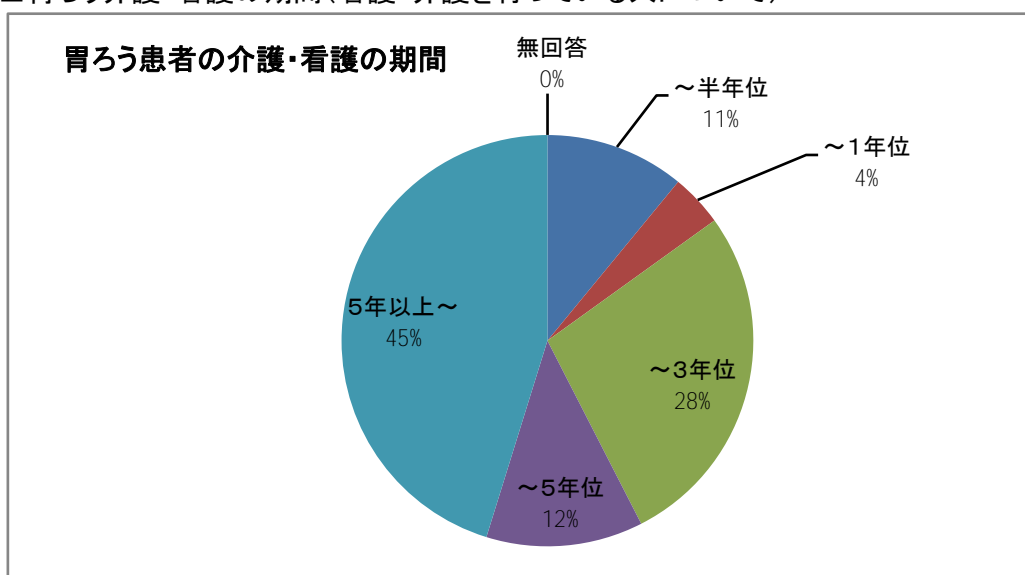
川上郡	夕張郡	北海道のみ	無記入	合計
1	1	8	13	107
0.9%	0.9%	7.5%	12.1%	100%

■胃ろう患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=98

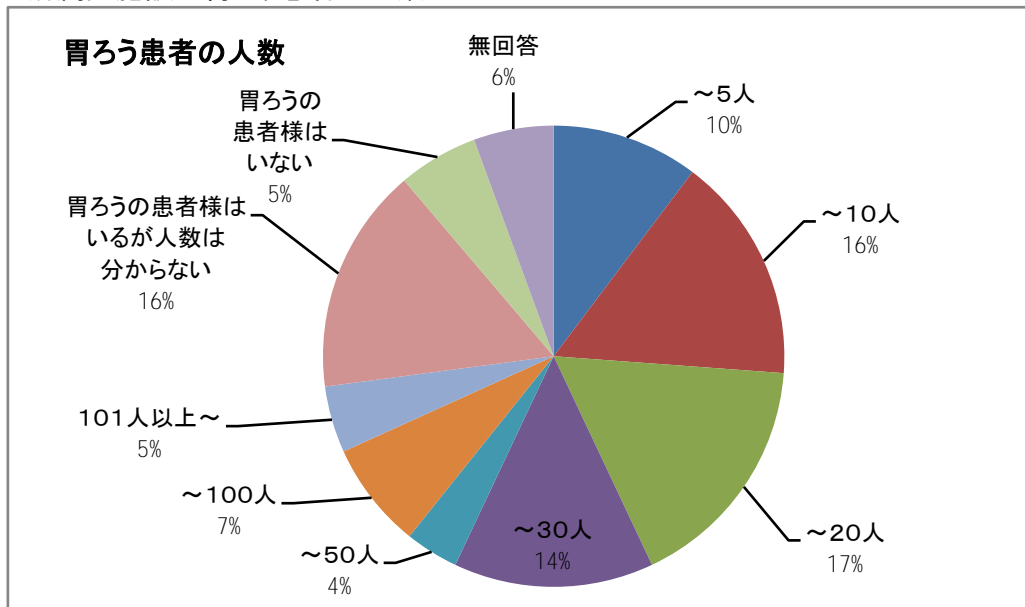
■胃ろう介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=73

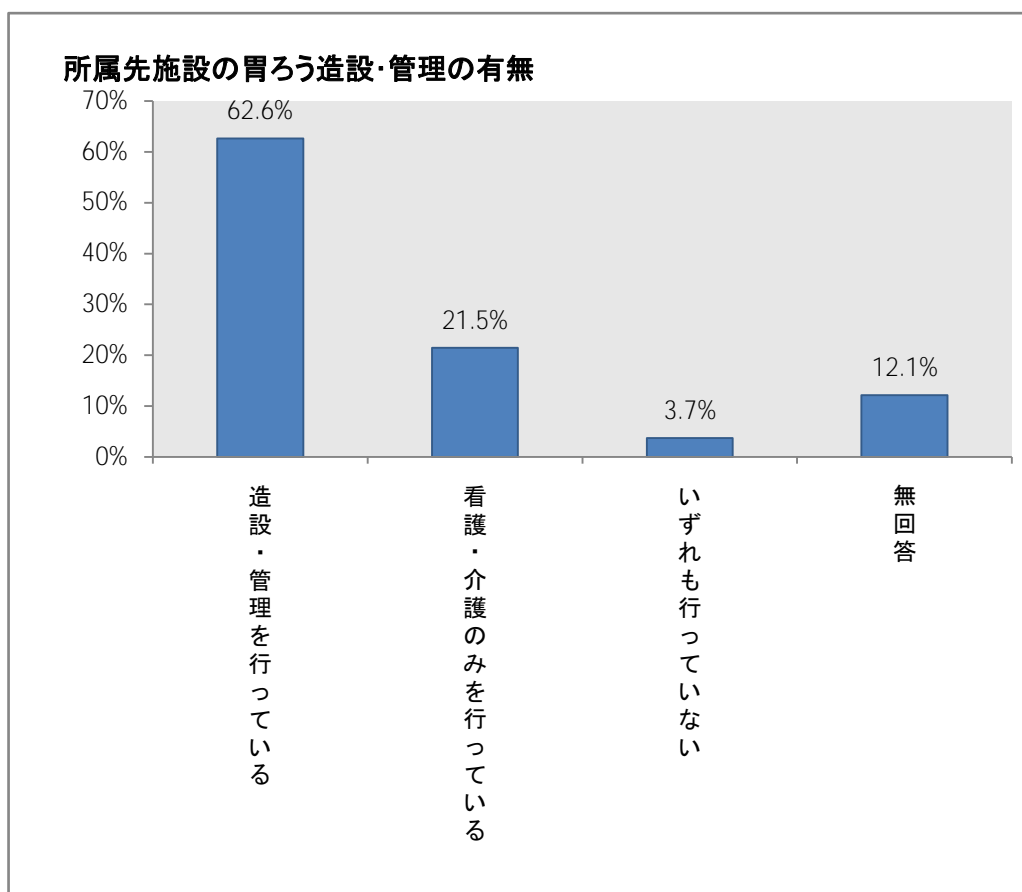
II. 所属先施設の胃ろうの現状

■ 所属先施設の胃ろう患者の人数



N=107

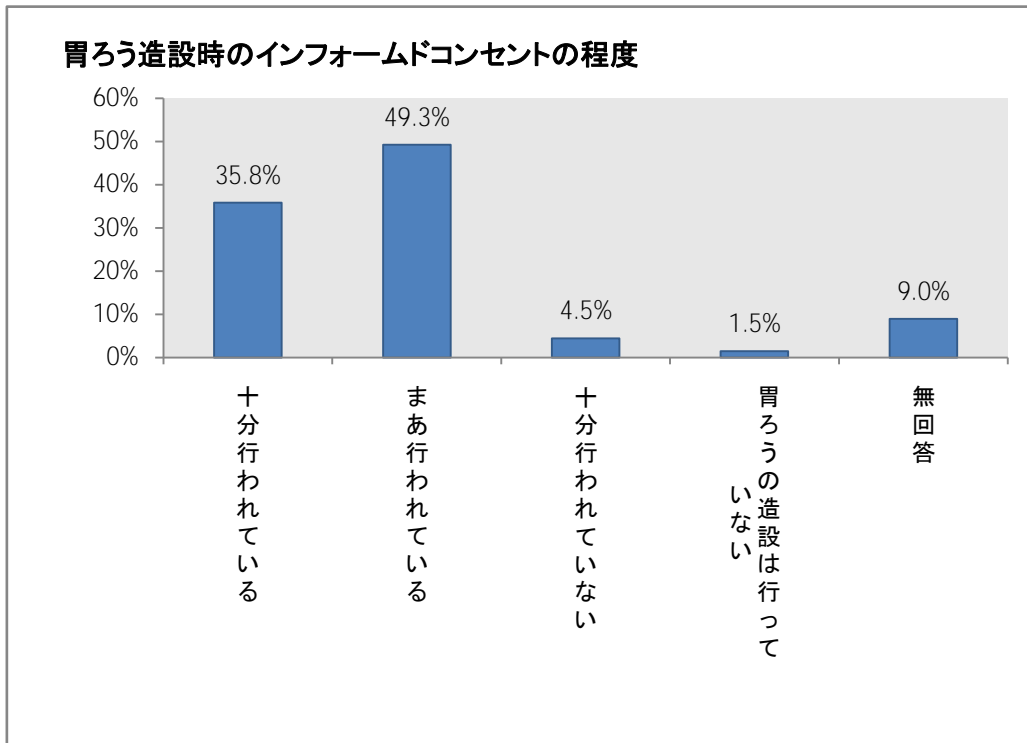
■ 所属先施設の胃ろう造設・管理の有無



N=107

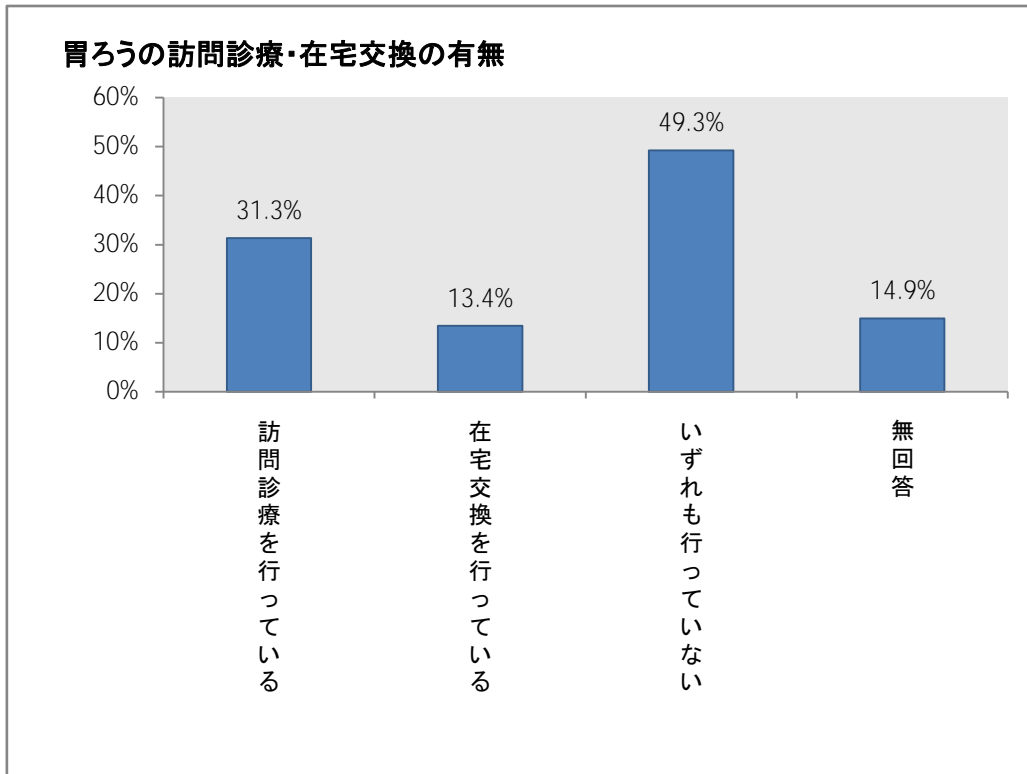
■ 胃ろう造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先が胃ろうの造設・管理を行っている参加者について)



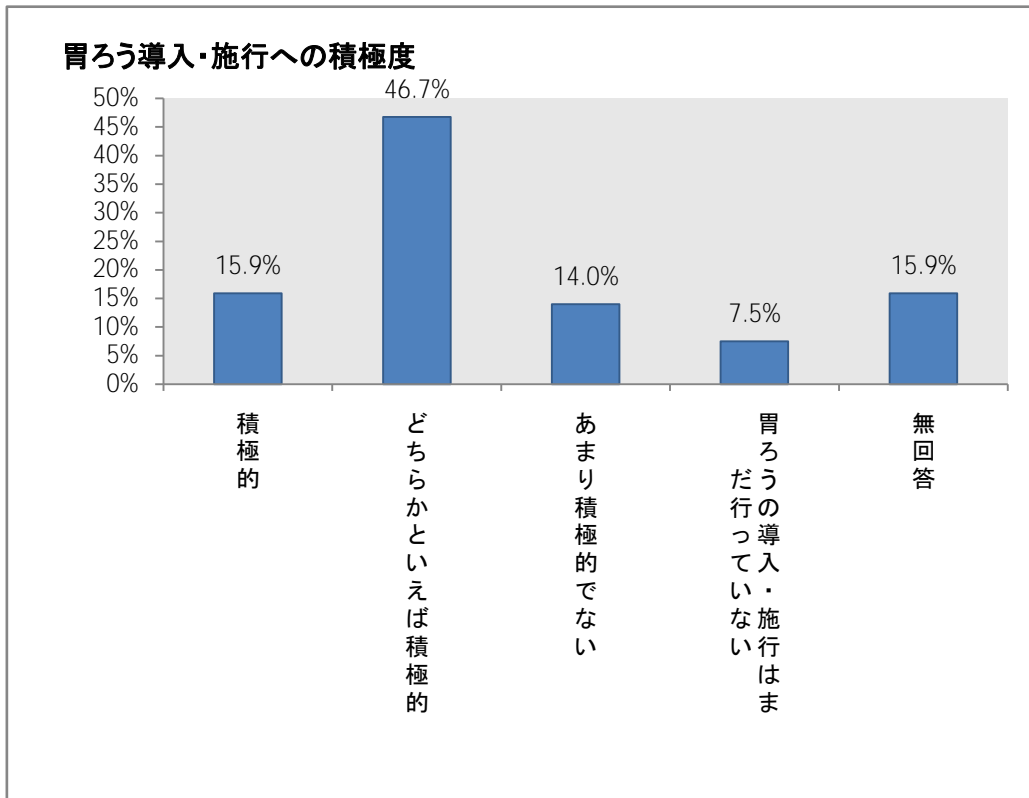
N=67

■ 所属先施設の胃ろうの訪問診療・在宅交換の有無



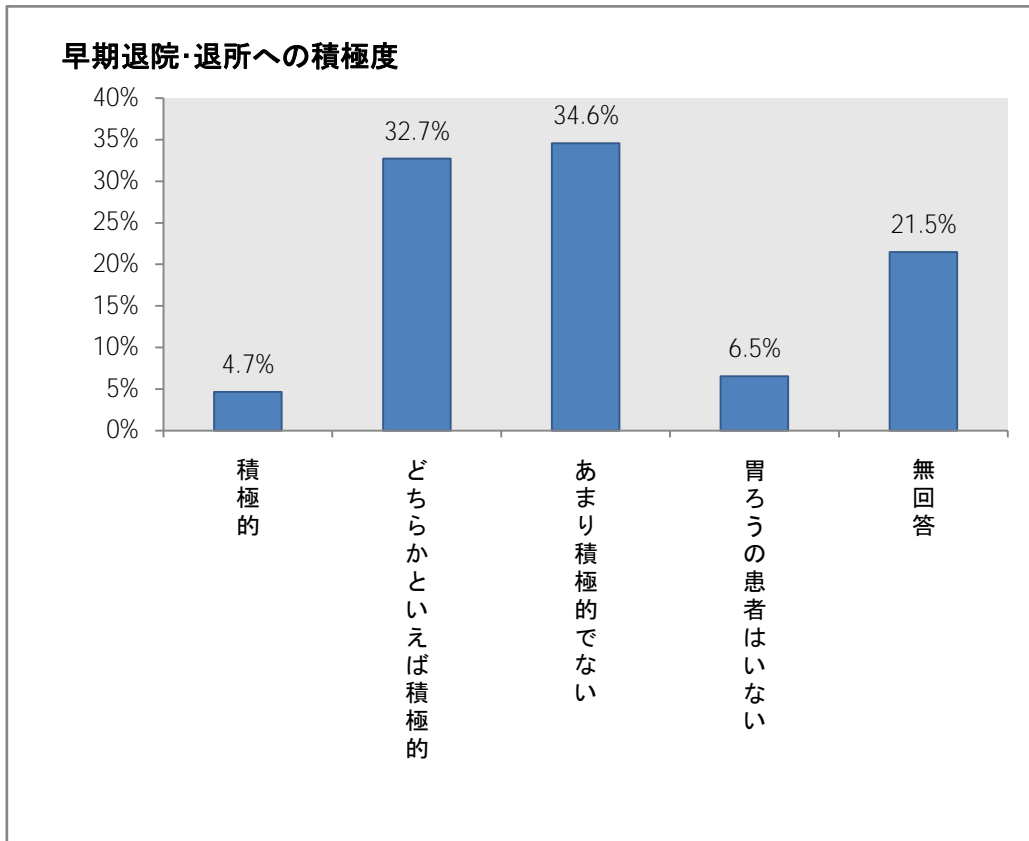
N=67

■所属先施設の胃ろう導入・施行への積極度



N=107

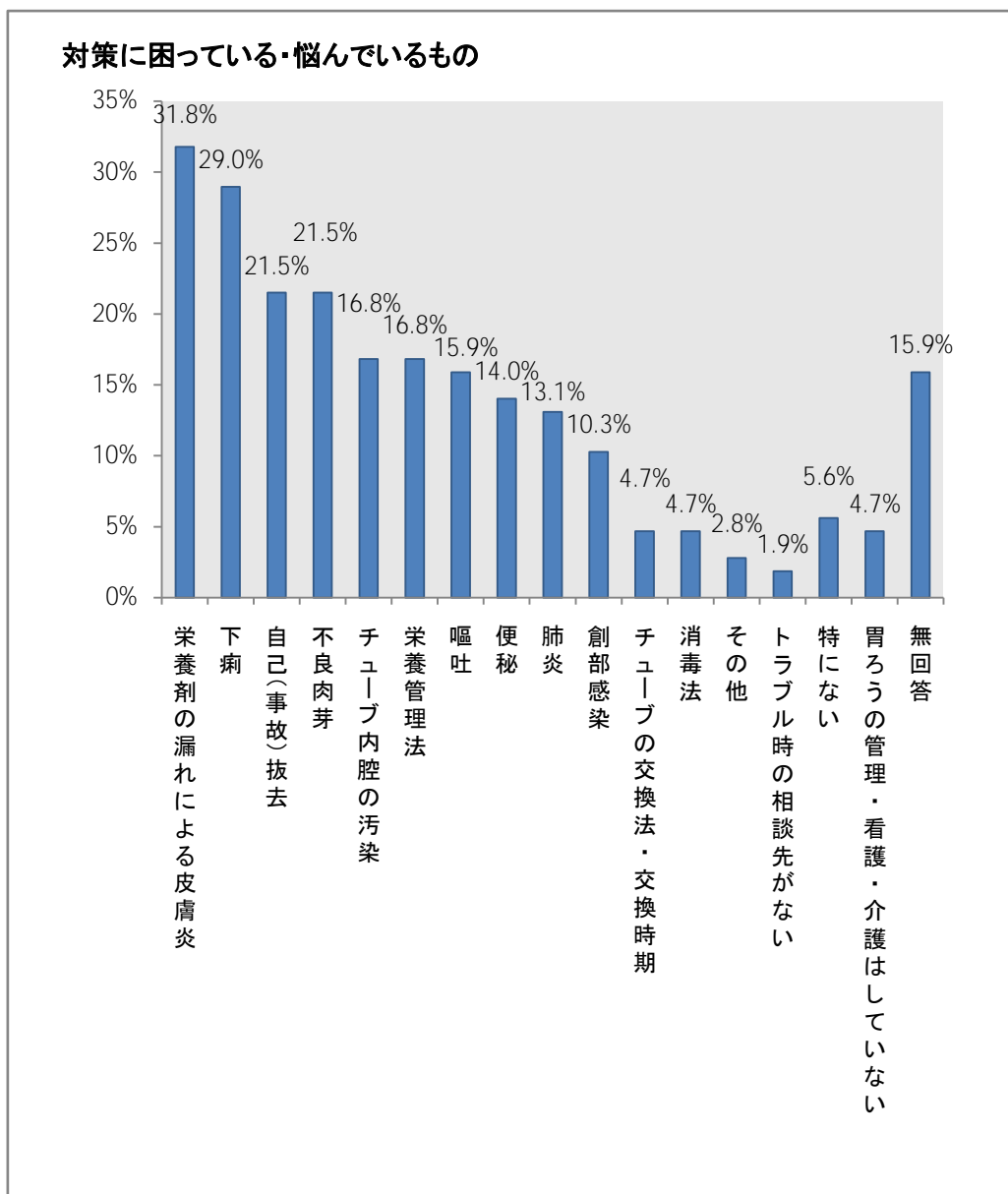
■所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=107

Ⅲ. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

■ 対策に困っている・悩んでいるもの



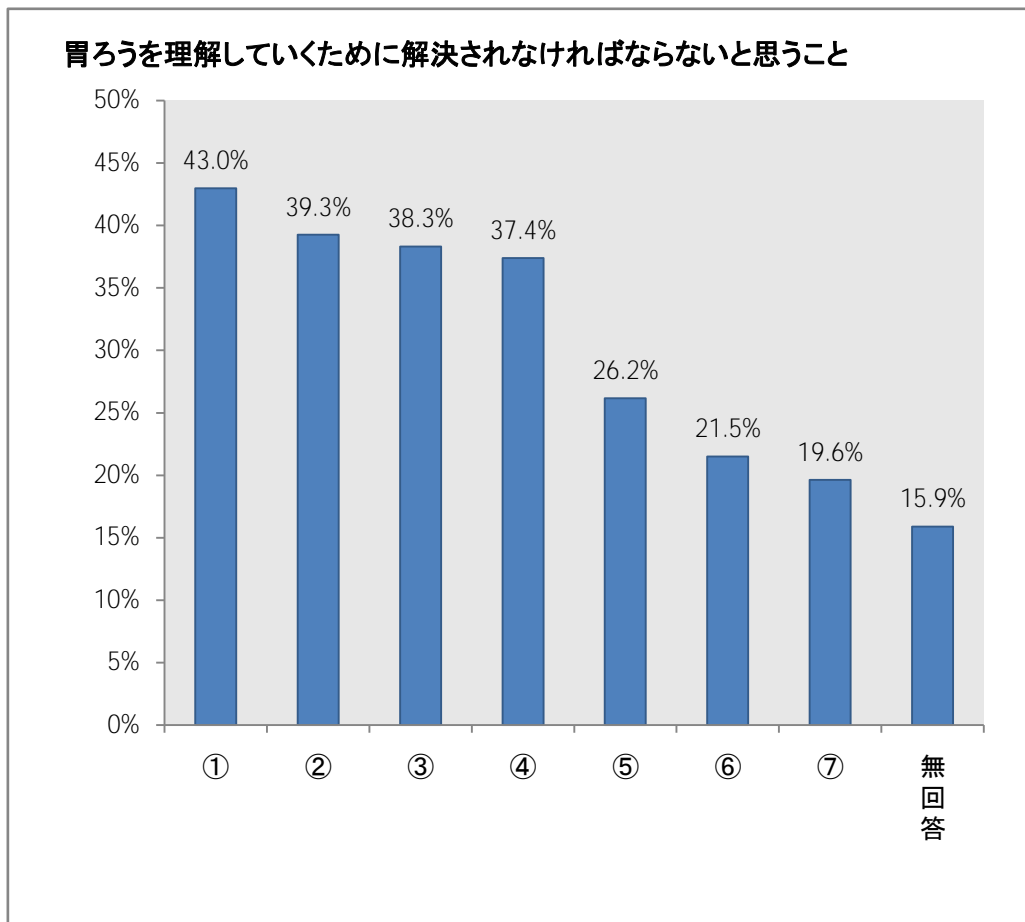
N=107

その他： 転院先を探すのが難しい。
 これから入院してくることを想定して勉強している。
 転院先で胃ろう手帳を活用してくれないなど情報交換不足。

IV. 胃ろうをもっと理解していくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

■ 胃ろうを理解していくために解決されなければならないと思うこと



N=107

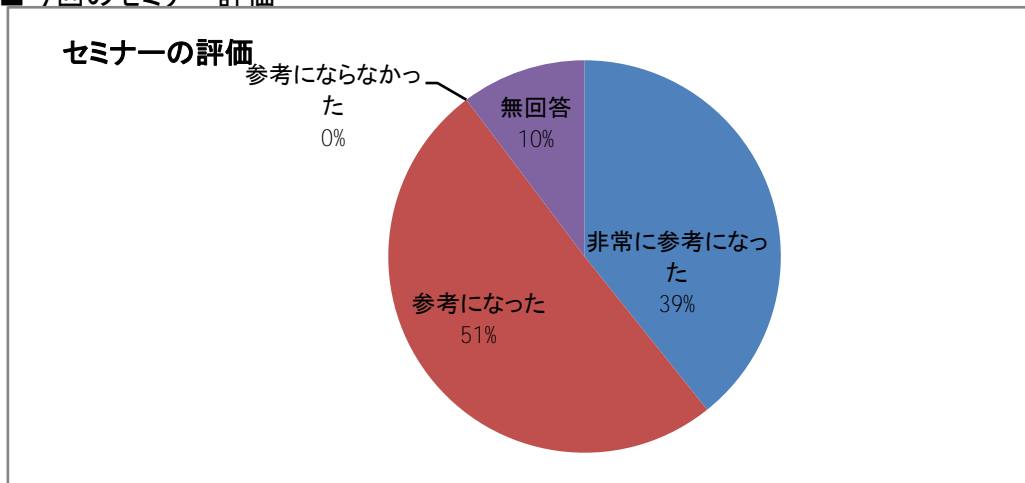
①	胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	43.0%
②	食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみること。	39.3%
③	胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	38.3%
④	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	37.4%
⑤	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	26.2%
⑥	胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	21.5%
⑦	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	19.6%

無回答

15.9%

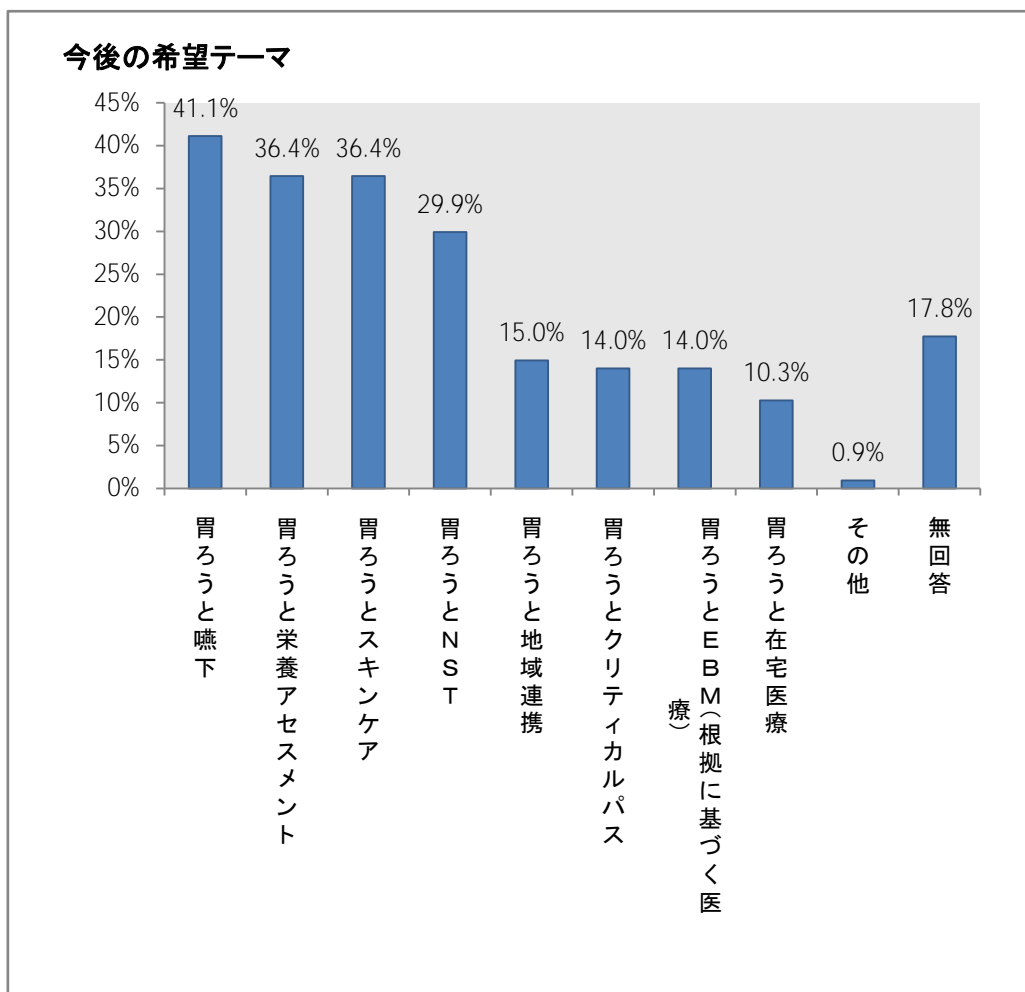
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=107

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=107

その他: PEG-Jの管理法

VI. 自由回答意見

問. 胃ろうの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- PEG-Jについてもっと詳しく講義を聞きたかったです。
- 本日の講演の中でもPEG-Jについてのお話がありましたが、当院でも近頃増えています。閉塞の予防や栄養の注入速度などについて詳しく説明が受けられる機会があればと思います。
- 特養でのPEGの受け入れは、ナースの人員が少なくかなり厳しい状態で行っているのので、療養型(病床)への入院の受け入れ先が少なく、非常に困惑している状態です!
- 当院(私の勤務する病棟)は、PEG患者が多く、また失敗もたくさん経験し、その時の失敗の理由、今後の対策など、その時には考えつかないこともあり、勉強になりました。皮膚トラブル対策について、実施してみようと思いました。ありがとうございました。
- PEGは近年普及してきているので、大体の関係職種は基本は理解できていると思います。今後はもっと奥深い講習を望みます。例えば、腹膜炎をおこしたときの対処法や炎症反応が高値、下痢等が起こったとき、一度栄養剤を中止し、その後の開始目途などが知りたいです。
- 大変勉強になりました。
- ご苦労さまでした。

セミナーについてのご意見

- セミナーがある際は、もう少しPRしてほしい(開催の情報がわからないことがあります)。
- 部屋が寒かった。話すのが早くついていけなかった。スライドのプリントがなくて困ったので、プリントがほしかった。
- スクリーンの下の方が見えにくい。人の頭で半分見えませんでした。残念…。だからレジュメがあるといいと思いました。
- 時間がなく早口のため、聞き逃しもありそうなので、パワーポイントのプリントもほしいです。
- ちょっとスライド、話が早かったので、もう少しゆっくりやってほしいと思いました。
- 会場の問題ですが、スライドの下の方が見えず、残念。
- スクリーンが見づらかった。
- 会場が寒くて集中できませんでした。
- 10月くらいに予定してほしい。

PDNセミナーアンケート

回収サンプル数：107

回答番号：回答内容：実数

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）：0(2)一般診療所（有床）：0(3)一般病院：34(4)特定機能病院：4(5)地域医療支援病院：1(6)一般病院＋療養型病床：21(7)療養型病床：19(8)脳神経外科病院：1(9)精神科病院：6(10)リハビリテーション病院：2(11)特別養護老人施設：3(12)老人保健施設：5(13)有料老人施設：0(14)障害者施設：5(15)訪問看護ステーション：0(16)居宅支援事業所：0(17)在宅介護老人支援センター：0(18)その他：5 無回答：5

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師：9(2)看護師：60(3)准看護師：20(4)訪問看護師・准看護師：1(5)介護福祉士：0(6)作業療法士：0(7)理学療法士：0(8)社会福祉士：0(9)臨床心理士：0(10)言語聴覚士：0(11)介護支援専門員：0(12)訪問介護員（ホームヘルパー）：1(13)薬剤師：4(14)管理栄養士：1(15)栄養士：5(16)その他：4 無回答：2

〔医師以外の参加者に対して N=98〕

Q3. あなたは、現在、胃ろうの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている：72 (2)現在は行っていないが、以前は行ったことがある：10
(3)行っていない：11 無回答：5

N=73

Q4. 胃ろうの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)半年位：8(2)～1年位：3(3)～3年位：20(4)～5年位：9(5)5年以上～：33 無回答：0

〔医師に対して N=7〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科：0(2)内科：6(3)内視鏡科：1(4)その他：2 無回答：1

Q6. 先生が胃ろうの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2,3年位前：0(2)～5年位前：1(3)～10年位前：1(4)10年以上前～：3(5)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：2

Q7. 胃ろうを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害：6(2)認知症：6(3)神経疾患：4(4)呼吸器疾患：2(5)外傷：1(6)癌：1(7)その他：0(8)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：2

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある：0(2)ない：7(3)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：2

Q9. 貴院では、一年間に、胃ろうの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下：0(2)～20件：1(3)～30件：0(4)～40件：1(5)～50件：3(6)51件以上～：2(7)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：2

〔以下、全員に対して N=107〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設には胃ろうの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人：11(2)～10人：17(3)～20人：18(4)～30人：15(5)～50人：4(6)～100人：8(7)101人以上～：5(8)胃ろうの患者様はいるが人数は分からない：17(9)胃ろうの患者様はいない：6 無回答：6

Q11. 御施設では、胃ろうの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている：67 (2)看護・介護のみ行っている：23
(3)いずれも行っていない：4 無回答：13

〔N=67〕

Q12. 御施設では、胃ろうの造設にあたって、患者さまご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？

(Q12のつづき)

(1)十分行われている:24(2)まあ行われている:33(3)十分行われていない:3(4)胃ろうの造設は行っていない:1
無回答:6

Q13. 御施設では、胃ろうの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

(1)訪問診療を行っている:21(2)在宅交換を行っている:9(3)いずれも行っていない:33 無回答:10

[N=107]

Q14. 御施設は、胃ろうの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

(1)積極的:17(2)どちらかといえば積極的:50(3)あまり積極的でない:15(4)胃ろうの導入・施行はまだ行っていない:8 無回答:17

Q15. 御施設は、胃ろうの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

(1)積極的:5(2)どちらかといえば積極的:35(3)あまり積極的でない:37(4)胃ろうの患者はいない:7 無回答:23

Q16. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

(1)自己(事故)抜去:23(2)肺炎:14(3)嘔吐:17(4)下痢:31(5)便秘:15(6)栄養剤の漏れによる皮膚炎:34(7)不良肉芽:23(8)創部感染:11(9)チューブの交換法・交換時期:5(10)チューブ内腔の汚染:18(11)消毒法:5(12)栄養管理法:18(13)トラブル時の相談先がない:2(14)その他:3(15)特にない:6(16)胃ろうの管理・看護・介護はしていない:5 無回答:17

Q17. 胃ろうをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。(3つだけ)

① 胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	46 43.0%
② 食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみる。	42 39.3%
③ 胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	41 38.3%
④ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	40 37.4%
⑤ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	28 26.2%
⑥ 胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	23 21.5%
⑦ 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	21 19.6%
無回答	17 15.9%

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

(1)非常に参考になった:42(2)参考になった:54(3)参考にならなかった:0 無回答:11

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

(1)胃ろうと嚥下:44(2)胃ろうと栄養アセスメント:39(3)胃ろうとスキンケア:39(4)胃ろうと在宅医療:11(5)胃ろうとNST:32(6)胃ろうとクリティカルパス:15(7)胃ろうと地域連携:16(8)胃ろうとEBM(根拠に基づく医療):15(9)その他:1 無回答:19

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. 胃ろうの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？